有勇優友

おとがわ ふぉ～ゆ～

校長室だより
第 54 号
R4.3.19
文責　中西　勉

記憶に残る「第７５回　卒業証書授与式」

新型コロナの影響で、６年１組の子供たちが自宅待機となる中、昨日、「令和３年度　第７５回卒業証書授与式」を挙行しました。今週は、卒業式の練習がほとんど行えず、式の進行がスムーズに行えるかが心配でした。しかし、式に臨んだ子供たちは、２組担任の高木先生のリモートでの呼名に元気よく返事をし、また、答辞を述べる１組の内田千晴さんは、リモートで心温まる感謝の気持ちを伝えてくれました。さらに、私が式辞で「皆さんは『卒業の歌』と『校歌』を歌います。どちらもマスクをして、一番だけになりますが、卒業式で歌うことに挑戦した、私たちは自分たちで卒業式を作り上げたんだという証を、深く心に刻みなさい」と呼びかけたのに応えるべく、子供たちは、一生懸命な表情で歌を歌い上げました。一人一人が自分にできる精一杯の表現をする姿を見て、とても目頭が熱くなりました。

▲卒業の歌「旅立ちの日に」を精一杯歌う卒業生

このように、校長として初めて迎えた卒業式は、記憶に残るものとなりました。異例ずくめの卒業式でしたが、子供たちや保護者の方の心にも、しっかりと思い出が刻まれたことでしょう。

でも、まだ６年１組の子供たちの卒業式が、３月２８日（月）の午前１０時に控えています。当日は、昨日と同じ流れで卒業式を行います。昨日に引けを取らない立派な卒業式を、子供たちと保護者の方、職員が心を一つにして挙行し、再び感動のひとときを共有したいと思います。

☆☆☆